

# 防災の輪 広げるコツ

～楽しく防災活動をやろう～

## 「生活防災」

### 防災の概念をぶっ潰せ

加古川グリーンシティ防災会  
 防災会長 大西 賞典  
 総務省消防庁 防災伝道師・防災アドバイザー  
<http://www.greencity.gr.jp>

#### 加古川グリーンシティの概要

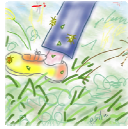
- 14階建を中心とした7棟(81新耐震)
- 584世帯、約2000人が暮らす
- 1986年、加古川グリーンシティ完成入居開始
- 阪神淡路大震災以後、活発な活動を開始
- **楽しくなければ防災の輪は広がらない「楽しく防災活動をやろう！」**
- 防災力アップ
- 防犯力アップ
- 地域力アップに大成功！
- **すべては「生活防災」の啓発が鍵！**



加古川グリーンシティ防災会

#### 防災の概念をぶち壊す

- 人から教えられだけの防災から  
→ **自分から学び生み出す防災へ**
- 自らが一歩踏み出すこと！
- 災害より一歩先を行く「**自分だけの防災**」
- その為のヒントは？
- 「**防災+α**」または「**ひつつき虫の防災**」
- インセンティブ(おまけ)付きの防災活動が必要！
- 教科書的な過去の想定に捕らわれない
- 「**臨機応変防災力**」を手に入れる！
- これが「**新しいスタイルの防災活動**」だ



加古川グリーンシティ防災会

#### 長野市の活動調べ

- 平成22年6月末調べ
  - 自主防災会の結成率は**98.3%** ← **継続活動率は？**
  - 自主防災組織の統括・連携の連絡協議会・・・22地区
  - 地域での体制整備が進む
  - 自主防災訓練の実施率・・・**実施率50%** ← **どんな訓練を？**
  - 市民の防災に対する意識を高めるため
  - 広報誌等を通じて防災に関する情報提供
- **各種防災訓練の実施** ← **日常的に訓練**
  - 土砂災害ハザードマップ、洪水ハザードマップを作成配布
  - 長野県短期大学との連携により、防災啓発教材を作成活用で幼稚園、保育園での防災教育を実施
- **公共・民間建築物の所有者に対して** ← **申請の簡略化**
  - 耐震診断や耐震改修の助成制度を周知
  - 耐震化への指導、啓発、耐震化率の向上に取り組む

加古川グリーンシティ防災会

#### 地域防災力をあげるための組織づくり

- 自主防災組織と自治会(町内会・町会)の違い？
- 自主防災組織の設立目的は？
- 自主防災組織化で個人情報保護の壁を越えられるのでしょうか？
- 行政は「**自主防災組織**」=「**自治会(町内会・町会)**」とみなしている？
- 「自治会(町内会・町会)」の中に**防災係(担当)**を！
- 継続性のある**防災専門委員会**を設置ぬ！
- やはり自主防災組織の組織率アップは、自治会の扱いを「**地縁の組織**」から変更した方が早いのでは？
- 地方自治法第260条を改正が必要

加古川グリーンシティ防災会

#### 慣例・恒例・形式に「こだわらない」防災組織

- ① 町内会・自治会＝自主防災組織
    - 役員が兼務
  - ② 町内会・自治会の下部組織
    - 町内会の一部(委員会的)
  - ③ 町内会・自治会とは別組織
    - 独立した組織化
- どのパターンもOK
  - 継続して活動ができれば良い！
  - 地域により「**住民が活動しやすい方法**」を選ぶ
  - **型に「はまらない防災」でやろう！**

加古川グリーンシティ防災会

## 自主防災組織率・カバー率だけ上げればよいのか？

- いまさらに自主防災組織が本当に必要か？
- 「祭り」で確立された強いコミュニティがある地域
- 存在する「**団結力**」「**確立されたメカニズム**」
- 今更に「名前だけの防災組織」はいらぬのでは？
- でも、祭りの組織では**超えることのできない壁**が存在する！
- であるなら全国の「祭り好き達よ」自主防を立ち上げておけ！
- 自主防を立ち上げておいて「損はしないぞ！」



青森県 27%

沖縄県 6%

長崎県 40%

加古川グリーンシティ防災会

7

## まずは、これから解決しよう！

- さて！  
あなたは『**防災**』をひと言で説明できますか？
- 『**防災**』は、ひとそれぞれ  
想いや考え方が違うものでしょう
- でも、『**防災**』を伝えていくためには、  
ひと言で説明する必要に迫られることがある
- 私は、このように伝えています！
- 『**防災**』とは… **自分の大切な人を守ること！**

加古川グリーンシティ防災会

8

## なぜ防災活動をするのかを「説くこと」が鍵！

- 「**防災**」とは**何**なのか？
- 地域の人たちへ**伝える**ことは？
- 「**防災活動**」への**スタートライン**を引く
- 守るべきものを**定義**！
- 「**自分の大切な人を守ること**」
- やるべき「**防災活動**」が見えてくる！

一連の流れ

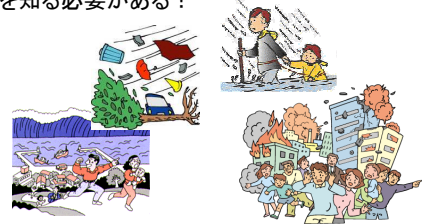
加古川グリーンシティ防災会

9

## やるべき防災活動とは何を？

- 被害の大きさや種類に対応した備えの必要性
- 言い換えれば、  
「**地震対策だけが最優先の防災事業ではない！**」
- 「**自分が受けるであろう災害は何なのか？**」
- まず、それを知る必要がある！

- 地震
- 津波
- 台風
- 水害
- ???



加古川グリーンシティ防災会

10

## 誤った防災活動をしていないか？

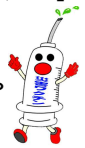
- あなたは何に対して防災をするのか？
- それに対して、本当に正しく恐れて「構える」いるのか？
- 「**防災の常識**」「**防災活動**・**防災訓練**」と言うものは…
  - どうも怪しい…誰が発信？
- 恐れるための情報源は、マスメディアのみ
  - 知らず知らずにのせられてしまう！**？ラッシュに打撃**
  - 時代や世間の「**空気**」には、どうも逆らえない！**？**
  - マスメディアは防災の専門家ではないはずなのに！
- さて、  
過去の災害の中で**地震は本当に最悪の被害**をもたらしているのだろうか？

加古川グリーンシティ防災会

11

## 過去の災害で最大の被害は？

- 過去の災害で最大の人的被害を出しているのは？
- **インフルエンザ！（Pandemic）**
- インフルエンザを予防する為には？
- インフルエンザの**ワクチン接種**が有効！
- そう考えれば…
- 自分が受けるであろう災害による「**被害の対策は？**」
- **災害ワクチンの接種！**
- 災害ワクチンとは「**防災活動**」
- どちらのワクチンも接種するか？しないかは？



ポイントになる  
あなた次第！

加古川グリーンシティ防災会

12

## 間違えないでください！

- 「地震災害を軽視せよ」と言っているのではない！
- あなたが、あなたのところで起こる「災害」により
- 受けるであろう「被害」を知らずに対策をしても
- 「全く意味がない！」
- 他人の言葉に惑わされることなく
- 「自分の大切な人を守る」を考える！
- 「やらなければならない活動」が見えてくる
- そうすれば、  
「防災をすることなんて簡単！」



## 優先順位で迷い？

- ところが問題がある！
- 地域活動へ一歩踏み出す「**動機づけ・motivation**」
- 必要だと判っていても**motivation**が維持できない
- 「現役世代」は災害発生時に究極の選択を！
- **会社 > 家族**
- **地域**
- **会社 > 地域 > 家族**
- **家族 > 地域 > 会社**

**家族 地域 会社**



## 選択への理解を！

- 家族
- 地域
- 会社(仕事)
- どれが無くなるのが**一番悲しいか？**
- 我々は、まず一番に！
- 「家族」
- 続いて「会社(仕事)」
- 最後に「地域」
- **地域活動は余力でやろう！**
- **これが「地域力をアップさせる最大の秘訣！」**
- しかし「家族を守る活動」を考えると**不安がいっぱい！**

**家族 会社**

地域



## 不安要素！家族を誰が守ってくれるのか？

- **なぜ「地域活動が必要なのか」理解できていない！**
- 大切な人を残して仕事に向かわなければならない
- 大切な人を守ってくれるのは？
- 「**地域の人たち！**」
- その為に日頃から地域活動に参加！
- 参加することが大切な人を守ることに繋がる
- 自分の大切な人を守ってくれる地域を  
**自分たちで日頃から創り上げる**
- 残されたもの同士が「助け合えるシステム」を構築
- 安心して仕事に向かうことができる！



## 今風に言うと、地域活動は自分の「バックアップ」

- 「自分の大切な人を守る」為には
- 自分自身には**限界**がある
- 24時間「守る」ことは不可能！
- 予期せぬクラッシュ(災害)！
- その瞬間「あなたはどこに！」
- もしもの保険がバックアップ！
- **不意の瞬間をカバーするバックアップ**
- 「**地域の人たち**」「**日頃の地域活動**」
- バックアップがあれば、リストアが可能！
- 最悪でも初期化(リカバリー)が可能
- 可能な限りの短期間で「**元に近い生活感**」を取り戻せる



トラブル発生！データ消失！！



バックアップ  
(データのコピー)



リストア  
(書き戻し)

## 災害時要援護者対策？

- 高齢者？
- 乳幼児？
- 障害者？
- 他人には判らない？
- **要援護者の基準は？**
- ケガをしたら『誰もが災害時要援護者』
- 対策→高齢者・障害者を**脱社会化**させることがダメ！
- 社会の中で「**あなたが存在していること**」を自覚させる
- 自分のできることを自分のできる範囲で考えさせる
- 自分から発信することが大切「**日頃のあいさつ運動**」
- お互いがお互いを守るコミュニティづくり **要援護者対策**



## 現代の落とし穴が防災活動の進行を阻む

- 防災における課題
- 情報の氾濫・・・テレビ、インターネット
  - 災害発生
- ↓
- 見慣れた光景、インパクトがない！
  - 目の前の事実(災害・被害)
- ↓
- 認識できず個々の非常スイッチが入らない！
- 何故か？
- 「知っている」が「理解していない」！！



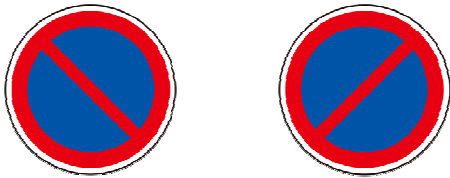
## 理解すること

- 災害に備えなければ大きな被害の発生は「知っている」
  - 家具の転倒防止、保存食、家電製品の固定
  - やった方が安全なことは「知っている」
  - しかし「備えられない！」
  - 備えておくと何がどう変わるのか「理解できていない！」
  - だから「備えない」
  - 「知っている」と「理解している」とは違う！
  - 何が起こるのか？
  - どんな影響があるのか？
  - 「なぜやらなければダメなのか？」
- 基本的なことを理解する必要がある！



## 「知っている」と「理解している」の違い

- 「知っている」と「理解している」の違いを確認
- 「駐車禁止のマーク」を思い出してください
- 真ん中の斜めの線はどちらから？
- 左上から右下へ？
- 右上から左下へ？



## 駐車禁止のマーク

- 正解 → 「 」
- なぜなら駐車禁止マークの元になったものがある！
- 英語の「 」
- 「 」と「 」を組み合わせたもの
- この理由を聞いたあなたは！
- もう、2度と間違えなくなる
- 「理解した」と言うこと！
- 理解していればいざという時に「判断ミス」をしない！
- 災害発生時には「命を守る近道」を手に入れた
- 一歩踏み出し「理解する」のは「あなた次第」



## あなたの理解

- 最低限のmotivation・・・
- 「助かりたい」と思う気持ちが必要であり重要！
  - なぜ？助かりたいのか？
  - 迷惑を掛けない為？
  - 最初から「あきらめる」？
  - 他人まかせ？(自分の命を他人に任せるの)
  - 他人には自分が受ける被害が判るのか？
  - 本気で「他人が助けてくれる」と思っているのか？
- やはり「助かる意味」を考える必要がある！
- その為に「理解する必要」がある！

## 理解への怠り

- 防災活動や防災訓練とは？
  - 何の為にするのか判っていない
- 人命に関わる訓練でも「自分ひとりくらいは・・・」
  - どうしても「集団になると無意識に手を抜く」
- 「集団的手抜き事件」の発生！
- 防止する為には！
  - 個人の守備範囲を定める
  - 効率化を図る
  - 責任の所在を明確にする
- 「集団的手抜き事件」をなくすことは可能か？




## 集団の手抜き事件の防止方法

- 防災活動の「綱領や骨子」をはっきりさせる
- 何のために、誰のために防災活動するのか！
- 「自分の大切な人を守る為にやるんだ」
- 目的をしっかり持って活動することが大切
- それでも残念ながら・・・
- 手抜きは少なくなっても、完全には無くならない！
- 無くならないなら・・・
- 「割り切って活動をしてしまえ！」
- じゃあ、割り切るためには？
- 「パレートの法則」で割り切ろう！

加古川グリーンシティ防災会

25


## パレートの法則

- 80:20の法則
- 全体の数値の大部分  
全体を構成するうち一部の要素が生み出している
  - 売上げの8割は全顧客の2割が生み出す  
売上げを伸ばす→顧客全員を対象とせず、2割の顧客に的を絞る
  - 商品の売上げの8割は、全商品の内の2割が生み出す
  - 売上げの8割は、全従業員の2割が生み出す
  - 仕事の成果は、費やした時間全体の2割で生み出す
  - 故障の8割は、全商品の内の2割に原因
  - 所得税の8割は、課税対象者の2割が担っている
- 全体の20%が優れた設計なら  
→実用上80%の状況で優れた能力を発揮する 
- 働き蜂の2:6:2理論も同じ・・・地域も会社も2割を目標に！

加古川グリーンシティ防災会

26


## しかし！理想の防災活動とは？

- 小学生から教えられた防災活動
- 「地震が発生したら」
- 「みんなで地面を押さえる」 
- 「地震が止まる！」
- 確かにこんなことで地震を止めることは無理
- しかし、この発想は正しい！
- 防災とは、ひとりだけがやればよいのではない
- 理想的には「みんなでやるのが大切！」
- 誰か決められた人が担うのではない
- みんなで一緒に地域ぐるみで防災活動を行う
- 人まかせ（命を人に託す手抜き）は絶対にダメ！

加古川グリーンシティ防災会

27

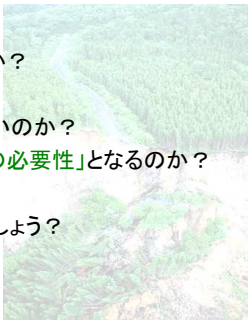
## 多発する自然災害への対策

- 専門家による災害対策 
- 素晴らしい設備「緊急地震速報」
- 「最先端の設備」があれば？
- 確かに、構えることはできる
- しかし！どんなに正確な地震予知ができたとしても
- 「人の命を守る対策」ができていなければ
- 全く意味がない！
- （災害は会議室で起きてるんじゃない、現場で起きているんだ！）
- 現場となる、我々一般市民がやるべきことは
- 止めることのできない自然災害から
- どのように被害を減らすかを考えるのが大切！

加古川グリーンシティ防災会

28


## 災害と闘う前にちょっと考えよう

- 大地震発生！
- 大地震発生はしたもの・・・ 
- さて、災害は起きるのだろうか？
- 大地震＝災害発生？
- このイコールは、本当に正しいのか？
- 「大地震」→「災害」→「防災の必要性」となるのか？
- では、みなさん！
- そこで、「災害」とは何なのでしょう？

加古川グリーンシティ防災会

29

## ところで“災害”とは？なに？

- 「災害」と「災害因」の違いを知ることは大切！
- 「災害因」はあくまでも災害発生の原因
- 「災害因」＝「災害発生」にはならない！
- 考えてみましょう・・・ 
- 人跡未踏の地で“大地震”発生しました！
- でも・・・これは災害ではない！
- 災害因による破壊力が災害になるのではなく  
社会やコミュニティがその破壊力にどれだけ脆弱か！
- 「災害因」+「人間社会」＝災害
- 破壊力により人的や物的な損害が生じること→災害発生
- 阪神淡路大震災・東日本大震災＝災害
- 災害因＝兵庫県南部地震・東北地方太平洋沖地震
- 大地震が発生したことで、大震災（災害）が起こった！

加古川グリーンシティ防災会

30



## ひとつの災害から多種多様の被害

- 災害による被害は、人それぞれで個々に違い、決して一律ではない！
- 極めて、特殊で「千差万別」
- 同じ災害から、異なる被害が発生する
- 隣の家の人とても「**受ける被害**」は違う！
- 災害が被災者にもたらす影響は……
- 最終的に、個々の人の「**災害対応力**」と「**運**」
- 自分では制御できない「**幸運**」を味方につける必要！
- その為に、「**継続した備え**」が必要
- 備えあれば憂いなし！
- 毎日の備えが、「**幸運を引き寄せる！**」

## 「幸運」の引き寄せ方は？

- 「**幸運**」は
- 自分自身が持つ「**興味力**」の中にある
- 探そうとしなければ……見つからないもの！
  - 例えば、「救命講習を受講するとAEDが目につく」
  - 「地震が続けば、耐震化の必要性」も感じる
- 生き残る為の少しだけ努力
- 理解していれば助かる確率も上がる
- 日常の暮らしの中で「**防災アンテナ**」を！
- 「**意識を持つことの大切さ**」を！
- 次の一枚の写真を！



## 普段の生活の中に、ほんの少しの興味力



## 興味力を防災に……

- 日々、恐れる必要はない！
- 頭の片隅に置くこと
- 少しだけの「**興味力**」を防災に活かす
- これが
- 「**生活防災**」
- 「**生活防災力**」
- 「**生活防災文化**」
- 継続することで大きな力に変わる！
- 「生活防災」を詳しく解説しましょう！

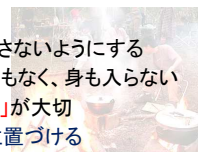
## 普段の生活に防災を！

- 災害にうまく備える対策方法はないのか？
- 残念ながら……**特効薬はない！**
- 問題解決へ向けたヒントは身の回りに！
- 防災の為の工夫を**普段の生活に組み込む**
- このような考え方を「**生活防災**」と呼ぶ
- 京都大学 防災研究所 矢守克也 教授推奨



## すべては「生活防災」からスタート

- **生活防災の基本**
  - 自分の「**できることから**」「**関心のあることから**」はじめる
  - 防災を他から独立させた活動にしない
  - 災害発生までの余裕のある時間に出来ること
- 普段の生活の中に防災を組み込む
  - 仕事・家事・勉強・福祉・環境・趣味
  - お祭・レジャー・スポーツ・イベント
- 「防災」を自分の生活習慣から引き離さないようにする
- 災害は「**非日常的な出来事**」→真剣さもなく、身も入らない
- 防災を「**日常的なものにしてしまうこと**」が大切
- 普段の生活の延長線上に「**防災**」を位置づける



## 生活防災のすすめ

- 日々の生活の中
  - 普通の生活の「**利便さに組み込み置き換える**」
  - 非日常的な災害時や緊急時の活動だけと考えない
  - 日常化された「**習慣の中に組み込む**」
  - 防災の為とは「**意識させない**」
- チームで、みんなで、一緒にやるのが大切
  - みんなでやれば、「**すごく楽しい**」
  - 他の人と話し → 自分の知識やスキルもアップ
  - 自分を守ることに間違いなくつながる
- 繰り返し行うことも大切
  - **毎年、毎月、毎週、毎日**
  - 自分や地域の**生活文化**になっていくようにする
  - **習慣**になると自然と考え動けるようになる

## 防災だけに特化せず！

- 平常時と災害時の両方で役立つハードとソフト整備
- 日常生活の中で考える
- 生活の上での「**利便性(お得)**」
- 災害からの「**危険回避(防災)**」
- 両方で恩恵を得るようにすること
- 「**災害対策の為に活動する必要はない**」
- 「**利便性**」+「**危険回避**」=「**生活防災**」
- **みんなの小さな力を集めて長期継続可能型の防災**
- 少しのガソリンで走り、発電、蓄電、蓄電した電気で走る
- エコなハイブリッドカー的防災
- **ハイブリッド防災をやろう！**



## 生活防災のすすめ(自分の生活に定着させる方法)

- **住居内の整理・整頓**
  - 日常的に快適な生活が過ごせる
  - 気持ちの良い空間
    - 落下物の防止や脱出口までの避難路確保ができています
- **家族間のあいさつ**
  - 「おはよう・おやすみなさい」
  - 行き先の確認・居場所の確認
    - 災害時の安否確認をする上での負担軽減になる
    - 災害時は携帯電話は繋がらない
- **散歩・徒歩でのお買い物**
  - 地域を知る、健康増進につながる
  - 危険箇所の把握や緊急時利用資源の確認

## 生活防災のすすめ(自分の生活に定着させる方法)

- **お風呂の水**
  - 普段では、洗濯水の確保・・・水道代を安く
  - 部屋の乾燥防止等の加湿効果
    - 流さずにおいておく
    - 災害時トイレの水確保、身体を拭く清拭用
    - 火災時の消火用水
- **保存食**
  - 家族の好物(好きな缶詰やスナック菓子)
  - 少しだけ余分に置く
  - 楽しく晩酌、食べたらいい足す
    - 災害時の非常食の確保
    - 賞味期限切れにならない管理

## 生活防災のすすめ

- **迷惑駐車対策**
  - 道路閉塞(へいそく)防止で住みやすい街
    - 緊急車両進入路確保・・・緊急車両の通路確保
    - 避難路の確保
- **ゴミの出し方(分別・ルール)**
  - ゴミの減量
  - 資源の再利用
  - 環境保全
    - 災害時の廃棄物処理の軽減
- **マナーを守る**
  - 身勝手なことはできない→住みにくいように感じる
  - お互いのゆずり合い「お互い様」
    - 災害時でも普段通りに歩み寄りの精神で共助へ向かう

## 生活防災のすすめ

- **地域内コミュニケーション**
  - ご近所のあいさつ
    - 近隣のコミュニティ強化
    - 地域の防犯力向上
    - あいさつがあると楽しい、ワクワクする
      - 災害時の共助の基盤づくり・・・初動体制の構
      - **上手く機能する初動**
      - どのだれか判らないようなことがない
      - 一分一秒をあらそう時に即座に対応可能
- **お祭やイベントなどは長期的な生活文化の形成**
  - みんなでやると楽しいと言う文化が根付く
    - 「こんなことでよいの？」と防災訓練に足が向く

## 生活防災の実践

- 防災井戸の設置
  - 新しいコミュニティの場の確保、水の大切さの学習
  - 井戸端会議場
  - 「人の輪」を形成し、安全で安心なまちづくりを推進
    - 災害時の生活用水確保
    - 「飲料水不足」「トイレ用水不足」



加古川グリーンシティ防災会

43

## 生活防災の実践

- 階段昇降機の導入
  - エレベーターの改装時に購入の昇降補助具
    - 災害時の避難器具(1人で1人を運ぶ)
  - ステアチェア 電動階段昇降車
  - スカラモービル 車いす電動階段昇降機
  - キャリダン 非常用階段避難車



加古川グリーンシティ防災会

44

## 生活防災の実践

- 炊き出し用具の配備
  - 夏祭りや各種イベントで使用
  - 日常的に使用
  - 災害時の安心確保



加古川グリーンシティ防災会

45

## 生活防災の実践

- 自動販売機メーカーとコラボ
  - AEDの提供を受ける→告知広告する
  - ジュース等を安く販売
  - AED維持管理費用を賄う
  - もしもの時に身近にAEDがあり安心
  - AED支援自動販売機の表示



加古川グリーンシティ防災会

46

## 生活防災の実践

- 防災ベンチ
  - デイケア等の待合場所
  - 子ども達の遊び場(たまり場・待ち合わせ場)
  - もしもの時、誰もが判る場所に救助用具保管
  - パール・ジャッキ・ロープを内蔵したレスキューベンチ



加古川グリーンシティ防災会

47

## 生活防災の実践

- お祭り
  - 毎年繰り返される楽しい文化
  - 楽しみながら地域づくり
  - 色々なものを使う技術(スキル)が向上
  - もしもの時、地域で協力できる共助体制が構築
  - 避難所運営システムが構築
  - 安否確認の軽減(名簿が無くても確認可能)



加古川グリーンシティ防災会

48



## 生活防災の実践

### もちつき大会

- 世代間交流の場
- 地域コミュニケーション強化
- 楽しく炊き出し訓練
- 声掛けで要援護者対策
- みんなが使用できる
- 炊き出し班ができてあがっている
- 要援護者救助システムが稼働
- 避難所運営がスムーズに！



加古川グリーンシティ防災会

49

## 生活防災の実践

### 地域清掃作業

- 日頃から地域の危険箇所把握
- 事故の軽減
- 地域内の修繕箇所改善
- 溝掃除等で綺麗な水環境
- もしもの時、救助用具保管や手入れ
- 水害の軽減・予防
- 火災の延焼予防
- 地震災害時の倒壊・構造物転倒の回避



加古川グリーンシティ防災会

50

## 「バックアップデータづくり」から生まれた活動

- 私たちは考えました「**町内チャンピオンマップ**」
- 住民が災害時に自分が提供可能な能力・サービスを事前に登録
  - 医療や看護の技術、大型車両の運転、防災に直結すること
  - ゴミの分別、買い物や子守り、インターネット情報収集や発信等々、後方支援に関する登録を推奨
- 実際に被災地では、こういった種類のお手伝いがとても大切
- 重要なこと→ **普段本人がやっていることを登録しているという点**
  - ドライバーは運転、幼い子どもをもつ保護者は子どもの世話、パソコンが趣味の人はインターネット操作というように、
  - **ふだんの得意技を生すだけのこと！**
- もっとも、「**だけのこと**」とは…
  - 「**そんなことでいいなら、自分にも防災はできる**」と住民たちに思わせる
  - それが「**町内チャンピオンマップ**」の**思うツボ**なのだ

加古川グリーンシティ防災会

51

## オリジナル防災の必要性

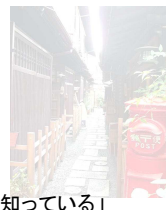
- **オリジナルの防災**
- **自分たちで創り上げる防災活動が大切**
- 「**ご当地防災**」を考える！
- 自分達しかできないこと、判らないことがある！
- 他の地域と同じことをする必要はない！
- 行政主導型・市民主導型どちらでもよい！
- まずはスタートラインに立たせる方策を！
- 「**インセンティブ・おまけ**」の**重要性**
- 「おまけ」があると人は動きやすい！
- 「集まらない？」ひと集めも楽しみながらゲーム感覚
- 焦らず長期スパンでやりましょう！

加古川グリーンシティ防災会

52

## 生活防災のすすめ

- 「人への心遣い」が自分を守ることになる
- 更には家族、自分の大切な人を守ることになる
- **心遣い(旅行のおみやげ)→「ありがとう」・「感謝」**
- 良好の近所付き合い
  - 醤油や味噌の貸し借り
- こんな言葉が昔から…
- 「**お互い様**」
- これって、究極の「互助・共助」
- その為にすることがある！！！！
- 自分のもつ「情報の共有」
- 近所の人「間取りを知る」
- 他の人が「自分の動きやスケジュールを知っている」
- **災害発生時「したたかな自分のバックアップ構築」**



加古川グリーンシティ防災会

53

## 誰も教えてくれない個々に違う生活防災の備え方

- 誰も教えてくれないものがある！
- 人によって備える方法は大きく違う  
たとえば…
- 「メガネが必要」…予備を
- 「つえ(杖)が必要」…予備を
- 「入れ歯が必要」…いつも手が届く範囲に
- 「体調管理」…常備薬を取りやすい位置や種類をメモ
- 「乳児がいる」…粉ミルクやおむつを余分に
- **自分や家族にしか判らない備えを書き出す**
- 自分が一日の間で「**一番長く居る場所**」に保存

加古川グリーンシティ防災会

54

## 2色のグリーンシティ防災活動

- 私たちは、防災活動を2つに分けて考えた！
- ソフトウエア
- ハードウエア
- それぞれをコーディネートするのが・・・
- **ヒューマンウエア** ⇨ **我々である！**
- こんなことも防災活動なの？
- なんでも、**防災にからめることが大事！**
- 逆に言えば、**何でも防災にしてみえ！**

## 「ひとつづくり、ひとつのつながり」をテーマ

### ソフト面の運営 地域コミュニケーションの確立

- **あいさつ運動** ⇨ **これが一番大切**
- 小さな親切運動
- グリーンシティ安全活動
- ふれあい餅つき大会
- **夏まつり**
- 地域清掃活動クリーン作戦
- 青少年育成事業

それぞれの場所で  
徹底した声掛け(スカウト)を行う  
「こんなことで良いならいつでも手伝うよ！」



## 最高の「生活防災活動」

- **あいさつ運動**
  - あいさつ運動 ← これから始める
  - あいさつ運動 ← **できなければ何もはじまらない**
- **初動体制の構築になる**
  - あいさつが自分の大切な人を守る
  - あいさつは最大の防御
  - あいさつは最高の攻撃
- **安否確認の軽減になる**
  - 名簿が無くて！
- **地域防災力の構築**



## 町内チャンピオンマップ

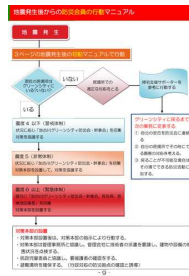
- **(災害時強者)** 防災意識の向上と、緊急時や災害発生時に、何をすべきか、何を応援してもらうのか緊急ボランティアをどのように呼びかけるのか等、グリーンシティの知恵袋(色々な職種、免許、技術)集団としてまた、居住の**救急隊員**や**消防隊員**も災害時にはここにはいないが、自分たちの持つノウハウで指導、ご意見番的集団として登録
- **(災害時弱者)** ひと声かけて登録も平行して実施登録していただくことによりいち早く声掛けができる



## 地震発生時対応本部立ち上げマニュアル

- 防災組織が持つべき防災マニュアル
- 「地震発生時対応マニュアル」
  - 地震発生後からの防災会員の行動指針
  - 地震発生から対策本部構築～活動開始
- 気づかなかった本当のマニュアルの構築

[地震発生時対応マニュアルjPDF](#)



## 「非常持ち出し本」発行

- 数多くの防災・減災に関する書籍やホームページがあるのだが、どの本も、かゆいところに手が届かない！？
- 地震発生から復興までの一連の流れ
- 「**非常持ち出し本**」



## あんしん情報登録制度「あんしんカード・REC」

「あんしんカード」登録発行の新システム開発。  
「あんしんカード・REC(Relief Card)」を開発  
頭文字から名前を「レック・REC」と言い安心な情報を記録するという意味です



- ◆グリーンシティ居住者、又はグリーンシティに関係する方々を対象に「グリーンシティあんしん情報登録制度」を開始・・・これは名古屋消防の安心カードを!
- ◆登録された方が万一事故などにあったとき、あんしんカードを携帯しておくことにより、指定された緊急連絡先に連絡したり、ご家族の方やご親戚に連絡するシステム
- ◆免許証をもっているから「安心」?
- ◆免許証には緊急連絡先・かかりつけの医療機関・現在治療中の病気などは記載されていません。また、子ども達やお年寄りなどは、全く身分証を携帯していないのが現状
- ◆災害時に遠方の親戚を登録

[あんしんカード登録へ](#)

加古川グリーンシティ防災会

61

## 命のライセンス 発災時行動指針

地震発生直後からを簡単マニュアル化  
2008年改訂版を再発行

緊急時における、秒単位での安全確保と発災時行動指針  
静岡県の「命のパスポート」を基に制作しました



加古川グリーンシティ防災会

62

## 帰宅支援サポーター制作

- ・ 帰宅困難者や帰宅難民になる可能性のある人たちの為に作成
- ・ 仕事場や出先で災害が発生した場合、どのような行動をとればよいのか、また、「帰るべきか?」「残るべきか?」をパニックに陥りそうな発災に出来る限り正確な判断を行えるよう持ち運び簡単にポケットサイズで発行



加古川グリーンシティ防災会

63

## エレベータ緊急時応急手当訓練

- ・ 大規模な地震の際は、消防は消火や倒壊家屋からの人命救助等の対応に追われ、エレベータからの救出に向かうことができないと想定される。また、エレベータ保守会社も**公共施設や病院などから優先的に確認作業に入ります**
- ・ そこで「自分のまちは自分たちで守る」基本理念から、その対策としてグリーンシティ独自の救出体制の整備が必要だと考えました



加古川グリーンシティ防災会

64

## イカ焼き機で炊き出し訓練

- ・ 自動高速炊飯装置の導入を検討  
高速炊飯タイプのもので3升炊飯で30分要  
洗米等を考えると間違いなく40分以上必要
- ・ 3升タイプ炊飯器・・・1回の炊飯で約30人分の食が賅える  
・ 災害用レスキューキッチン(100名分(米10kg)20分間(20kg/1人当たり200g)炊き上げ時)
- ・ イカ焼き機・・・1分で少なくとも2人前が焼き上がる。  
30分で60人分/1台の食を賅うことが可能  
・ 本来は4人前焼けるので**25分で100人前**が焼ける(繰り返しひたすら焼き続けることが可能)
- ・ **瞬時に火を通すことが可能**  
短時間で色々な食材に火を通す・・・少しでも安全なものに形を変えて供給
- ・ **行列になっても、待たせることが少ない**  
(スイスの国家経済物資供給に関する連邦法を学べ)



加古川グリーンシティ防災会

65

## 電波を通して地元FMラジオ局+近隣住民とコラボ

- ・ FMラジオ放送「**防災SHOTBAR**」
- ・ 防災は楽しみながらみんなでやろう!
- ・ ひとりでも多くの方に「防災」を届けたい!
- ・ 被災から復興を頑張る酒蔵のお酒を購入し取り寄せて紹介
- ・ 一風変わった「防災ラジオ番組」



86.9MHz

加古川グリーンシティ防災会

66



## 防災インターネットラジオ開局

- 電波ではなくインターネット上で**データ配信**
- グリーンシティ内では、自宅のテレビで映るコミュニティ放送ニューメディアシステムで放送
- 「**新たな災害による犠牲者をひとりでも少なくしたい**」「我々の減災への思いを伝える」
- **世代を超えた協力者からメインテーマの提供**
- **V系バンドとの防災コラボ**



加古川グリーンシティ防災会

## スポーツパブリックビューイング開催

- 観戦会は次世代の防災会員の育成のため地域の子どもたちに防災会を広報し、緊急時に子どもたちが防災会の一員として動けるための広報活動として行い、防災会役員の顔を子どもたちに覚えてもらい交流を深める為の活動



加古川グリーンシティ防災会

## DIG(災害図上訓練)

- DIG(災害図上訓練)を防災訓練のメインとして行う
- ゲーム感覚で災害時の対応を想定しながら図上で訓練
- クロスロードも併用して進行
- **必ず、机の上で地震を起こすことが大切!**



DIG PowerPoint



加古川グリーンシティ防災会

## 防災ゲーム「災害ハンター・First」

<p>みんなで協力して準備しましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ブロックの配置</li> <li>▶ 村長は正面向き</li> <li>▶ アイテムカードを 役職を認める</li> <li>▶ 各1ライフ</li> <li>▶ 「ライフカード」を枚数ずつ隠す</li> <li>▶ 「A 役職カード」を各1枚ずつ隠す</li> </ul>	<p>準備と確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ハンターゲーム開始(1人1分)</li> <li>▶ ライフカード 1枚</li> <li>▶ A 役職カード 各1枚</li> <li>▶ アイテムカードから隠れている</li> <li>▶ 村長(リーダー)</li> <li>▶ 隠れたライフカード</li> <li>▶ アイテムカードを隠す</li> <li>▶ 役職(緊急連絡カード)</li> <li>▶ パワーボタンを使用し進行</li> </ul>	<p>ステージ0 クエスト003</p> <p>今まで、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 命めらるは</li> <li>▶ 故障する状態に陥っていないか?</li> <li>▶ A 何もしていない</li> <li>▶ B 何もしない状態を維持している</li> <li>▶ 「選択カードを上げて」</li> <li>▶ 選択肢は B</li> <li>▶ 命めらるた人は、ライフカードを村長に隠せ!</li> </ul>
<p>ステージ1 クエスト101</p> <p>さて、自宅や会社で「緊急地震速報」が放送された</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ きみならどのような判断をするのか</li> <li>▶ A トイレは緊急な状況で待てる</li> <li>▶ B 揺れ始めると出口を探す</li> <li>▶ 「選択カードを上げて」</li> <li>▶ 選択肢は A</li> <li>▶ 命めらるた人は、ライフカードを村長に隠せ!</li> </ul>	<p>ステージ1 クエスト107</p> <p>さて、警報が鳴りだす!</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 大きな揺れに襲われた「トイレ」にいる場合</li> <li>▶ きみならどのような判断をするのか</li> <li>▶ A トイレは緊急な状況で待てる</li> <li>▶ B トイレから出て出口を確保する</li> <li>▶ 「選択カードを上げて」</li> <li>▶ 選択肢は B</li> <li>▶ 命めらるた人は、ライフカードを村長に隠せ!</li> </ul>	<p>ステージ2 クエスト108</p> <p>さて、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 倒れている人がいた場合</li> <li>▶ きみならどのような判断をするのか</li> <li>▶ A 助けを求めず待てる</li> <li>▶ B 知らない人の手で助けておく</li> <li>▶ 「選択カードを上げて」</li> <li>▶ 選択肢は A</li> <li>▶ 命めらるた人は、ライフカードを村長に隠せ!</li> </ul>

最終的にライフカードの枚数で勝者を決定する

加古川グリーンシティ防災会

## 時間がないので他の活動はHPで

- お時間があれば、
- 加古川グリーンシティ防災会HPを!
- すべて公開しています!
- 「できることを」
- 「できる範囲で」
- 「みんなで」
- 「楽しく」
- 「継続」
- **災害対策+日常の利便性=「生活防災」の追求**



加古川グリーンシティ防災会

## 「人と人のつながりが大切?」

- 「人と人のつながりが防災には大切」と言い続けたが?
- 16年経って防災への個々の「スキルアップ」の必要性
- 言い換えれば「人と人のつながりだけでは人を救えない」
  - 自分子どもが溺れたら、助けるために泳ぎの技能が必要
  - 泳げなければ我が子も助けることができないことになる
  - だったら泳ぎ方も覚えようということになる
  - 自分子どもが溺れているのに救えないようではダメ!
  - 逆に「助けられない」なら「危ない場所に行くな」ということ
- 防災も全く同じ
- 「次の災害が発生するまでの十分な時間」に準備し備えることを「自分の大切な人の為に活動する」ことを理解する

加古川グリーンシティ防災会